

専門問題を抱える人にとってのスタート窓口

一般社団法人 相続総合支援協会

昨今、遺産分割トラブルについての関連書籍やウェブサイトは充実している。しかし一番知りたい

『具体的にどうしたのか』という実例が見当たらないことは多い。

理由は、相続はプライベートな問題であるからだ。

一般社団法人相続総合支援協会は、相続の悩みや問題を抱える人に「本当のこと」を伝え、本気で寄り添い支援するために立ち上げられた協会。弁護士、司法書士、税理士、不動産鑑定士など、専門家16人でチーム体制を組み、依頼や登記などの各種手続きから、遺主の問題を解決に導く。名義変更

借地権と地主から借りた土地に、自分名義の建物を建てて所有する権利のこと。借地権を持ついる人を「借地人」、借地権を設定している地主を「底地人（底地権者）」といい、借地人は土地を借りる対価として底地人に地代を払っている。借地権付き建物を相続したら、自分が住まなくても地代を払い続けなければならない。

では、住む予定のない借地権付

なってくれることだろう。

「借地権をより高く売る
「入札方式」を導入

らう方法。二つ目は、第三者に借地権を売却する方法。そして三つ目は、地主の底地権を買い取って

一般的の不動産として売却する方法です。当協会ではより高い価格で売却するため、入札方式（ボットティングシステム）も導入しています。独自の情報網により借地権の買い手となる投資家を募り、入札方式で最も高い価格で売却することができます。通常は2週間以内に投資家が見つかります

買い手が少ないといわれる借地権だが、強いアドバイスを得られそうだ。

有している状態のこと。相続トラブル要因のひとつとして増加傾向にある。

典型的なのが、亡くなった両親が残した実家に、特定の相続人だけが住み続けるパターンだ。相続した家に住んでいない相続人は実家を売却して、代金の平等な分配を望むが、住み続けている共同相続人は実家の売却を拒否する。3人きょうだいであれば平等に法定相続分通り3分の1ずつの相続権があり、税金などの負担義務も3分の1ずつ3人にのしかかってしまう。

「当協会にご相談に来られる方

の多くは自己持分の売却に踏み切ります。自己持分のみの売却は、他の共有者の承諾が必要ありませんし、一般的な不動産市場ではほとんど流通されないといわれています。自己持分の不動産も海外ネットワークの投資家たちに入札方式でマッチングすることによって、できる限り高く売りたいというお客様のニーズを実現します」と松原氏は話す。

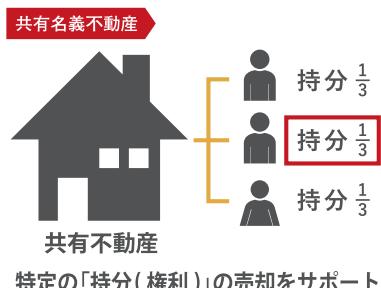
「三つの方法があります。一つ

は、借地権を地主に買い取っても

き建物を相続した場合はどうすれば良いのだろう。同協会代表理事の松原氏に話を聞いた。

共有名義不動産はその名の通り、ひとつの不動産を複数人で所

一般社団法人 相続総合支援協会 代表理事
株式会社中央プロパティー 代表幹事
松原 昌洙 氏



株式会社中央プロパティー
代表幹事
松原 昌洙 氏

遺産相続セミナー2020

誰も本当のことは、口にださない 遺産分割を丸くおさめる極意

具体的にどう対応し、どう落としどころをつけたのか。最前線を走るサムライたちが、明確に語る。

1.19.

第一部 9:00 開場
第二部 12:30 開場

ステーションコンファレンス東京 [会議室602]

東京都千代田区丸の内1-7-12
○JR「東京」駅日本橋口直結、新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
○東京メトロ東西線「大手町」駅B7出口直結
※お車でお越しのお客さまはビル内の時間貸し駐車場をご利用ください。

当日受け付けはしておりません。事前にお申し込みが必要です。詳細・お申込はお電話かwebで

03-6231-1188

<https://souzoku-sogoseminar.com>

参加費
無料

軽食
ドリンク
付き



一般社団法人
相続総合支援協会

一般社団法人 相続総合支援協会
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-28-9
TEL.03-6231-1188 <https://souzoku-sogor.jp/>

CENTURY 21
中央プロパティー

株式会社中央プロパティー
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-7-7
TEL.03-3281-0021 <https://www.c21-motibun.jp/>